

自分らしさを大切に。

男だから、女だから、と決めつけていませんか？

「あなたも、子どもも「男の子だから」「女の子だから」と無意識に言葉をかけていませんか。子どもは思っている以上に言葉に敏感です。言葉が子どもには何気なく発したその言葉を子どもは心に刻みこまれます。

個性を生かした
進路の選択を

子どもも、ご自身の進路は自分で決めたい、成長して進路を決めるときにも、男の子は家族を養ってほしい、女の子は家庭を守りたい、それぞれに選んだ道を狭めてしまわないでください。

「わたしはわたし」「わたしはわたし」、自分の能力や個性を生かし、希望する進路を自由に選択してほしい、好きな家族のかかり方が大切です。」なりたいたい自分になれるよう、家族で応援していきましょう。



社会的性別(ジェンダー)※

こんな言葉を子どもにかけていませんか？

女の子

- 女の子だから丁寧な言葉をつかいなさい。
- 女の子だから手伝いをしなさい。
- 女の子なのに乱暴をはたらいてはダメ。
- 女だてらにおすもうなんてやめなさい。
- 女の子はお嫁さんになるのが幸せよ。
- 女の子は人にかわいがられなくては損よ。

男の子

- 男の子だから体育が得意なはずでしょ。
- 男の子だからハッキリしなさい。
- 男の子は元気で外遊びをするものだ。
- 男の子なのにおしゃべりで困るわ。
- 男の子だから泣くのはおかしいぞ。
- 男の子のくせにままことが好きなんてへんよ。

※社会的性別…社会によって作り上げられた男性性、女性性。性別や固定的役割分担、偏見などが含まれることもある。対して、人間には生まれながらの生物学的差異があり、身体的特徴がある。この男性、女性の性的な差異を生物学的性別という。

家族が変わる、社会が変わる。

家事は誰かひとりの仕事なの？

左の内閣府の世帯調査によると、家事のしたくについて、85.2%が妻の役割



制である回答しています。また、掃除は75.6%、食事の後かたづけ・お風呂洗いは74.7%と、そのほかの家事についても同様となっています。

このように状況を把握することで、育った子どもたちは、将来的に、それを受け継いでいくことが求められます。

家事も可能性も分けあおう

家事は大変な時間と労力を要しますが、これを補いあうことで、お互いだけに負担がかかるとなると、夫婦ともに可能性を広げることが難しくなります。例えば、お父さんにとっては、家族との新たな関係を築くことが難しく、自分の働き方を見直すきっかけとなるかもしれません。

また、お母さんにとっては、お父さんとしての役割から解放され、自分の時間が生まれやすくなります。そして、新たなチャレンジの機会が得られるかもしれません。

わが家から始めよう みんなが幸せになるために

男女共同参画は決まらずに、お互い協力し、お互いに支えあう姿を見て育った子どもたちは、自然と夫婦の絆や家族同士の思いやりの気持ちを学び、それを当たり前のこととして新たなライフスタイルを築いていきます。

家族が変われば、社会を変えていくことができます。このように、家族みんなが協力しあう、自分らしく幸せに生きられる社会こそ、男女共同参画社会の目指す姿なのです。



通信員コメント



通信員会議風景

秋山 典子 さん

子供たちが大人になったときには多くの家庭が共働きになると考え、今まで以上に、家族みんなが笑顔で誇りをもって家事を担ってほしいと思います。

駒形 生子 さん

家事分担があまりに妻にかかりすぎている。まずは夫から家事をすすんで行なってほしいと思います。子どもは親の姿を見て、段々できるようになるはず。

小方 美紀子 さん

性別について、理不尽さを感じたことはありません。男女が互いに人生観を持ち、ともに話し合い、理解を深めることが、男女共同参画社会への一歩になるのではないのでしょうか。

佐々木 みつる さん

家事、育児、介護などの家庭での役割は、男女共にあることを子どものころから家庭や学校で教えることが、男女共同参画の実現につながるのではないのでしょうか。

大須賀 英子 さん

女性の就業状況に差こそあれ、家事に関しては圧倒的に女性の負担が多い昨今です。男女共同参画の浸透には、幼少期からの教育が大切だと思います。

倉山 直子 さん

学生のころ、親から「女の子だからそんなに勉強しなくていい」と言われ悔しい思いをしました。自分の子育てでは、子どもへの影響を考えた学習を心がけたいと思います。